

事業所における児童発達支援自己評価(公表)

公表：平成31年2月21日

事業所名：留萌中部地域子ども発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員配置数は適切であるか	○			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特定に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・補修しながら、より良い環境づくりを目指している。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・寒暖差が激しいが、職員で協力しあい、心地よい場づくりをしている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		・常に話し合いを実施している。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	○		・昨年度の結果を基に、活動につなげている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか	○		・専門支援により、療育に対する評価を実施。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・各種研修会に参加している。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・発達評価を随時実施し、保護者のニーズに添い計画を作成。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・乳幼児発達評価を実施。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・支援プラン作成時、職員間で話し合っている。また、月・週毎に細かく話し合う。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・子どもたちの支援ニーズに合わせて工夫している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・問題点、課題の振り返りを実施し、次の療育へ活かしている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・日誌をつけ振り返る。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・年2回のモニタリングと、その都度保護者との話し合いの中で行っている。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・ケースにより、担当が参加する事もある。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○	・現在対象児がいないため	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○	・現在対象児がいないため	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・その都度連携を図っている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・その都度連携を図っている。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・支援の方向性等、助言を受けている。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		・入園前の遊びの場へ参加。	
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	㊳	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・活動内容・目的等、口頭・おたより・玄関前黒板で伝えている。	
	㊴	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	・プログラムとして作成していないが、保護者の思いに寄り添い、対応策を一緒に考えている。	
保護者への説明責任等	㊵	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約時に説明している。	
	㊶	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	㊷	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・その都度行っている。	
	㊸	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・同じ悩みや境遇をもつ保護者が話をする場等を提供。	
	㊹	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・すぐに対応するように努めている。	
	㊺	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・月1回、活動内容・目的・次の予定等をお知らせしている。	
	㊻	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	㊼	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・事業所内に掲示している。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	・今後、様々な事を想定して行っていきたいと考えている。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	・今後実施していく。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・研修会に参加し、職員間で意識の向上を図っている。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		